資料２－１

神奈川県小児等在宅医療連携拠点事業における 令和３年度取組状況報告（２月末時点）

神奈川県健康医療局保健医療部
医療課地域包括ケアグループ

目次

1　小児等在宅医療連携拠点事業　概要

2　取組み概要（県）

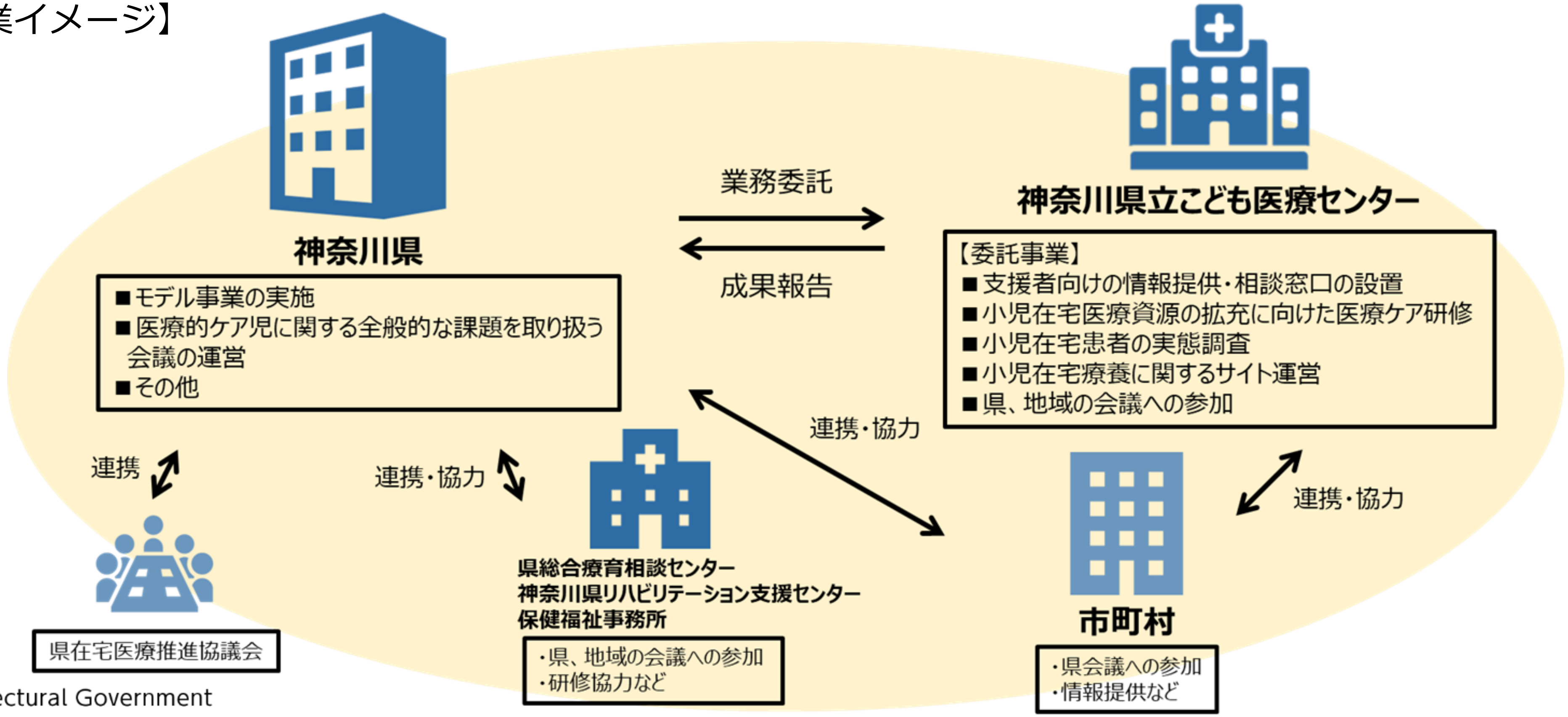
3　取組み概要（委託）

1　小児等在宅医療連携拠点事業　概要

【事業目的等】

NICU等からの退院後に在宅医療へ移行する小児等が安心して療養することができるよう、地域の医療者等の在宅療養のスキル向上や地域の関係機関の連携を図り、在宅療養を支える体制を構築することを目的として平成26年度から実施（H26国庫補助、H27～地域医療介護総合確保基金）

【事業イメージ】



２－１　取組み概要（一覧（県））

【神奈川県】

①モデル事業の取組み（資料２－２）

（現行　R２～）
- 医療的ケア児等コーディネーターを圏域で配置・運用するためのモデル事業（モデル地区：横須賀・三浦圏域）

（過去事業）
- 協議の場設置に関するモデル事業の実施
（H26～27：茅ヶ崎地域　H28～29：小田原地域・厚木地域　H30～R1：横須賀地域）

②医療的ケア児に関する全般的な課題を取り扱う会議の運営

- 県小児等在宅医療推進会議の開催
- 医療的ケア児の支援に関する市町村情報交換会の開催（市町村の障害福祉主管課中心に呼びかけ）

③その他

- 県内市町村の医療的ケア児に関する問合せ窓口一覧の掲載
- 医療的ケア児等の実数・実態を把握するための方策について検討（資料２－３）

２－２　①取組み概要（モデル事業）

【医療的ケア児等コーディネーターの配置・運用に関するモデル事業】

モデル地区：横須賀・三浦圏域（横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町）

議論の詳細は「資料２－２」を参照

	内容	実施状況
医療的ケア児等コーディネーター配置・運用検討会議（年3回）	医療的ケア児等コーディネーターの配置・運用にかかる課題の抽出と対応策を協議する	○第1回（7月2日開催） コーディネーターの役割・業務内容を検討 ○第2回（8月26日開催） コーディネーターの相談受付方法を検討 ○第3回（12月23日開催） コーディネーターの配置・運用方法を検討
コーディネーター支援者連絡会（年1回）	地域の支援者に対してコーディネーターの業務・役割等を説明するとともに、双方向の意見交換を行う	R4年度に延期
県コーディネーター連絡会（年1回）	県全域のコーディネーターに集まっていただき、各地域のコーディネート状況の共有を行う	R4年度に延期

令和4年度

○コーディネーター配置・運用試行運転開始　※県主体

↓ 引継ぎ

令和5年度

○コーディネーター配置・運用本格実施
→　横須賀・三浦圏域で実施

２－３　②取組み概要（市町村情報交換会の開催）

目的･経緯	
医療的ケア児に関する･･･ ☞ 課題や情報の共有 ☞ それぞれが実施している取組に関する情報の提供 ☞ その他各種意見交換	平成27年度より実施 （医療課及び障害福祉課主催）

＜令和３年度＞

令和3年6月25日開催、参加市町村数：26か所

（主な内容）

①	医療的ケア児等の支援に関する協議の場設置状況について
②	医療的ケア児等コーディネーターの配置状況について
③	医療的ケア児等の実数･実態を把握するための方策について

２－４　③取組み概要（その他）

令和３年５月版

神奈川県内市町村の医療的ケア児に関する問い合わせ窓口一覧

神奈川県健康医療局
保健医療部医療課
地域包括ケアグループ

Kanagawa Prefectural Government

＜はじめに＞

- ○「まずどこに相談したらよいかわからない」を少しでも解消すべく、県内各市町村の申請・相談窓口を分野別にまとめました。
- ○ ぜひご活用ください。
- ○ この情報は、県立こども医療センターが運営するホームページ「おひさま　小児在宅療養ナビ」にも、わかりやすく掲載しています。
  URL：http://ohisama.kcmc.jp/

＜使い方・注意事項＞

- ○ 医療的ケア児に関係する各種相談・申請窓口をまとめたものです。
- ○ 相談内容により、他の所管課にお繋ぎする場合がございます。
- ○ 各窓口の分野ごとに、大まかな色付けをしてあります。
  ＜色分け一覧＞

障害福祉	保健	給付金	教育	相談	その他

- ○ 以下の順番で掲載しています。

市町村名	項数	市町村名	項数	市町村名	項数
横浜市	4p	秦野市	16p	二宮町	27p
川崎市	5p	厚木市	17p	中井町	28p
相模原市	6p	大和市	18p	大井町	29p
横須賀市	7p	伊勢原市	19p	松田町	30p
平塚市	9p	海老名市	20p	山北町	31p
鎌倉市	10p	座間市	21p	開成町	32p
藤沢市	11p	南足柄市	22p	箱根町	33p
小田原市	12p	綾瀬市	23p	真鶴町	34p
茅ヶ崎市	13p	葉山町	24p	湯河原町	35p
逗子市	14p	寒川町	25p	愛川町	36p
三浦市	15p	大磯町	26p	清川村	37p

- ○ この全体版のほか、下記の通り大まかな地域（二次保健医療圏をベース）毎に分割したものも掲載しています。

地域名	含まれる市町村名
横浜、川崎、相模原（三政令市）	横浜市
	川崎市
	相模原市
横須賀・三浦	横須賀市　鎌倉市　逗子市　三浦市　葉山町
湘南東部	藤沢市　茅ヶ崎市　寒川町
湘南西部	平塚市　秦野市　伊勢原市　大磯町　二宮町
県央	厚木市　大和市　海老名市　座間市　綾瀬市　愛川町　清川町
県西	小田原市　南足柄市　中井町　大井町　松田町　山北町　開成町　箱根町　真鶴町　湯河原町

例：〇〇市

名称	〇〇相談センター
内容（備考）	各種相談
連絡先	TEL:000-000-0000　（代表）
URL	http:/･････････････････････････････

各窓口の所管内容を大まかに分類しています。
各自治体の最上部に記載された窓口に「各種相談」と標記されている場合には、こちらで医療的ケア児に関する全般的な相談をお受けしています。
（状況により他部署にお繋ぎすることがあります。）

名称	〇〇課
内容（備考）	障害福祉（〇〇〇〇について）
連絡先	お住まいにより相談先が異なります。詳しくは
URL	http:/･････････････････････････････

同分類の窓口がある場合などには、備考欄にカッコ書きで所管内容を補足しています。

名称	〇〇支援センター
内容（備考）	障害福祉（〇〇〇〇など）
連絡先	TEL:000-000-0000　（直通）
URL	―

電話番号の表記について
（直通）　･･･所管課等にそのままつながります。
（代表）　･･･代表番号につながりますので、交換手に課名等を伝えてください。

https://www.pref.kanagawa.jp/docs/t3u/cnt/shounizaitaku/madoguchi.html

３－１　取組み概要（一覧（委託事業））

【県立こども医療センター（委託事業）】

①支援者向けの情報提供・相談窓口の設置

・看護師を配置した配置した相談窓口を設置し、患者・家族、学校、関係機関等からの相談対応や情報提供を実施

②小児在宅医療資源の拡充に向けた医療ケア研修会等の実施

- 地域の開業医等を対象とした地域医療支援事業研修会の実施
- 医師・看護師・介護職等を対象とした医療ケア実技研修会の実施

③小児在宅患者の実態調査

- 在宅医療指導管理料から、医療機関側から実数調査を実施

④小児在宅療養に関するサイト運営

- 小児在宅の療養に関する情報を発信するサイト「おひさま　小児在宅療養ナビ」を運営

３－２　①取組み概要（支援者向け相談窓口）

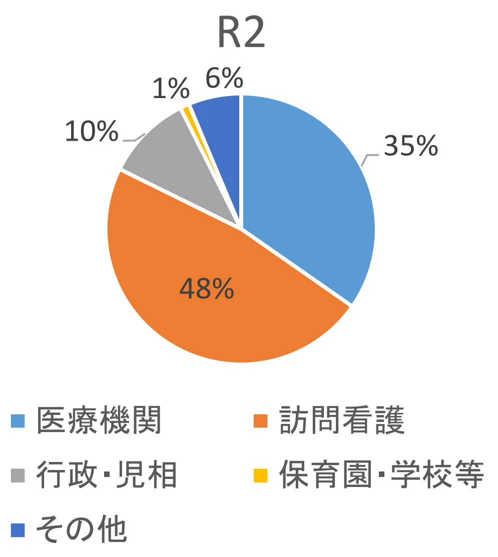
【支援者向け相談窓口実績】

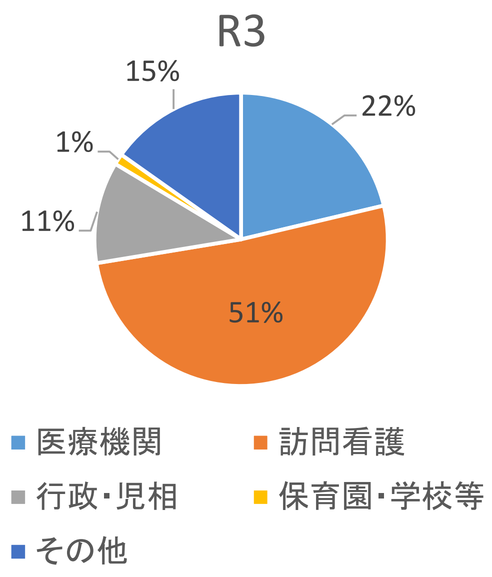
＜相談依頼元機関数（総数）＞

相談者	件数		
	R2年度	R3年度	前年度比
医療機関	243	171	70.4%
訪問看護	333	410	123.1%
行政・児相	72	90	125%
保育園・学校等	8	10	125%
その他	44	121	275%
計	700	802	114.6%

※2月末時点

＜構成比（推移）＞





＜主な相談内容＞

○　具体的な在宅での医療的ケアの利用方法など

○　医療資源（小児を受けてくれる訪問看護ステーション、介護支援事業所等）の照会　など

３－３　②取組み概要（医療ケア研修）

地域医療支援事業研修会

【目的】
○　地域の開業医向けに実施し、小児在宅をはじめとする地域における小児医療の課題を共有する。

実施日	対象者	参加人数	内容
オンライン配信	医師	視聴回数269回	乳幼児健診支援「日常小児科臨床に役立つ外科系診療のツボ」 ※5つにテーマを分けて実施

医療的ケア児等コーディネーター事後養成研修

【目的】
○「医療的ケア児等コーディネーター養成研修」を既に受講した者を対象に、コーディネートスキルの向上を図ること

実施日	対象者	参加人数	内容
3月20日	コーディネーター	未定	・県内におけるコーディネーター配置運用の状況共有 ・コーディネーターによる地域支援の実際について情報共有

医療ケア実技研修等

【目的】
○　県内の在宅医療に取り組む医療機関や訪問看護ステーション等を対象に、小児在宅の専門性などをテーマにし、小児の在宅医療知識・技術の向上及び情報共有・交換を目的とする

実施日	対象者	参加人数	内容
7月2日	看護師・その他	55	麻痺性側弯症　～最新の治療と術後の経過～
10月29日	看護師・その他	35	チアノーゼ型心疾患について
11月26日	医師・看護師・その他	68	重症心身障害児のてんかん
1月28日	医師・看護師・その他	82	気管切開について
9月24日	看護師・その他	14	医療的ケア児の普通級通学支援
10月7日	医師・看護師・その他	30	医療的ケアを必要とするこどもと家族を支える医療の現状とこれから

３－４　③取組み概要（小児在宅患者の実態調査）

【H2７年度】

（1）実施概要

○　こども医療センターの医療機関ネットワークを活用し、県内の研修指定医療機関38箇所へ調査票を配布し、調査を実施。

※調査対象は配付38機関＋こども医療センターの計39機関

（2）内容

○　対　　象：外来で在宅療養指導管理料を算定している18歳以下の患者

○　質問項目：居住市、年齢、性別、医療ケアの種類　等

（3）結果

○　**総数　1,088名（回答施設数：31施設）　（H27.12時点）**

＜市町村別対象患者数＞

横浜市	515
川崎市	99
相模原市	74
藤沢市	68
横須賀市	58
平塚市	40
茅ヶ崎市	39
大和市	25
鎌倉市	21
小田原市	19
厚木市	15
海老名市	13
綾瀬市	10
秦野市	9

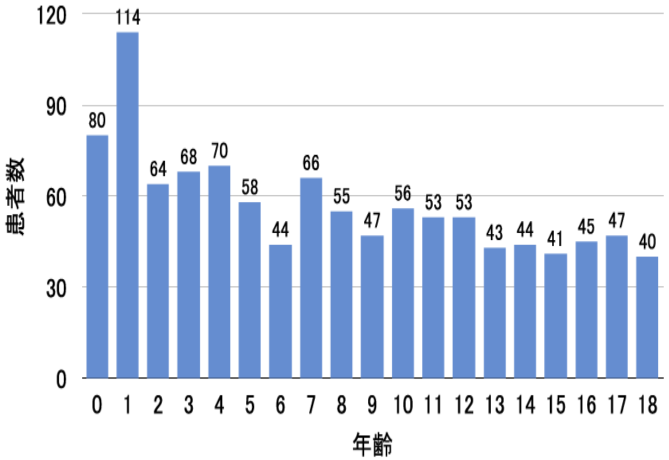
伊勢原市	8
座間市	8
寒川町	8
逗子市	7
中郡	5
葉山町	4
三浦市	4
足柄上郡	3
愛甲郡	2
箱根町	1
南足柄市	1
湯河原町	1
県外	31

※ 県外内訳
町田市17、それ以外の東京都8、埼玉県3、千葉県2、秋田県1（県内1057例）

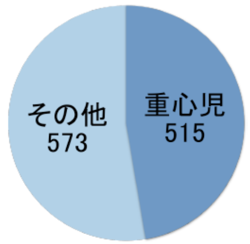
＜医療ケア別患者数＞

医療的ケア	延べ患者数
気管切開	205
人工呼吸（TPPV）	78
人工呼吸（NPPV）	35
酸素	408
胃瘻	305
腸瘻	9
人工肛門	5
自己導尿	180
腹膜透析	5
高カロリー輸液	11

＜年齢分布＞



＜疾患区分＞



３－５　③取組み概要（小児在宅患者の実態調査）

【H28年度】

（１）実施概要

○　こども医療センターの医療機関ネットワークを活用し、県内の研修指定医療機関38箇所へ調査票を配布し、調査を実施。

※調査対象は配付38機関＋こども医療センターの計39機関

（２）内容

○　対　　　象：外来で在宅療養指導管理料を算定している18歳以下の患者

○　質問項目：医療的ケアの種類

（３）結果

○　**総数　1,141名（回答施設数：26施設）**

医療的ケア	延べ患者数
人工呼吸（TPPV）	67
人工呼吸（NPPV）	42
ねたきり	103
酸素	354
静脈栄養	15
成分栄養	10
気管切開	65
経管栄養	304
自己導尿	170
腹膜透析	3
CPAP	8
合計	1,141

３－６　③取組み概要（小児在宅患者の実態調査）

【H29～R3年度】

（１）実施概要

○　こども医療センターの医療機関ネットワークを活用し、県内の研修指定医療機関38箇所へ調査票を配布し、調査を実施。

※調査対象は配付38機関＋こども医療センターの計39機関

（２）内容

○　対　　象：外来で在宅療養指導管理料を算定している18歳以下の患者

○　質問項目：診療報酬別の算定件数

（３）結果　回答施設数：39施設

診療報酬		H29	H30	R1	R2	R3
C107	在宅人工呼吸指導管理料	149	141	142	132	135
C109	在宅寝たきり患者処置指導管理料	164	104	85	61	65
C103	在宅酸素療養指導管理料	563	379	378	361	344
C104	在宅中心静脈栄養指導管理料	31	23	20	39	22
C105	在宅成分栄養経管栄養法指導管理料	28	23	27	25	23
C112	在宅気管切開患者指導管理料	104	122	122	109	118
C105-2	在宅小児経管栄養法指導管理料	379	332	291	282	299
C106	在宅自己導尿指導管理料	286	147	153	130	120
C102	在宅自己腹膜灌流指導管理料	26	5	2	5	4
合計		1,730	1,276	1,222	1,144	1,130

⇒　平成29年までは増加していたが、以降は減少傾向である。
医療的ケア児の大部分は大病院がメインとなって医学管理を行っている一方、既に地域の診療所も医学管理を担い始めていると推定される

３－７　④取組み概要（小児在宅療養に関するサイト運営）

みんな・えがお

医療ケアを含めた在宅療養の必要なお子さんたちが地域で生活しようとすると、ご家族ともども困ることがたくさんあるかも知れません。そのような時にこのサイトを見ていただくと、すぐに解決できなくても、誰に相談したら良いか？ なにを確認すれば良いのか？ が分かるようにしたいと思いました。すべてのお子さんとご家族が、安心して楽しい地域生活を送れるように、みんなの笑顔あふれる社会を在宅療養支援から提案します。

おひさまとは

「おひさま 小児在宅療養ナビ」は在宅療養を必要とされるご家族とお子さまのための情報サイトです。
ご利用できるサービスやさまざまな制度だけでなく、もしもの時のための緊急時対応マニュアル、同じ困難に立ち向かっている人たちからの応援メッセージ、在宅医療についてよく聞かれるご質問など、ご自宅での医療ケアにおける不安を少しでも軽く、ご家族の心の支えになればと思います。

http://ohisama.kcmc.jp/